

6月議会の日程

北陸センターの屋外実験強行に怒り

月日	曜日	時間	会議名	会議室
3	金	午前10時	本会議	本会議場
4	土	-	-	-
5	日	-	-	-
6	月	午前10時	文教経済委員会	委員会室
7	火	午前10時	厚生委員会	委員会室
8	水	午前10時	建設企業委員会	委員会室
9	木	午前10時	総務委員会	委員会室
10	金	午前10時	一般質問	本会議場
11	土	-	-	-
12	日	-	-	-
13	月	午前10時	一般質問	本会議場
14	火	午前10時	一般質問	本会議場
15	水	午前10時	一般質問	本会議場
16	木	休会日	-	-
17	金	午前10時	本会議	本会議場

日本共産党上越市議団ニュース

11 2005年6月5日
 連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
 樋口良子 544-6802 (中門前3)
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

今回の行動には日本共産党市議団も上野事務局長を含め全員が参加しました。
 6月定例議会の一般質問では橋爪議員が議員団を代表し、「この問題で市長に質問する予定です。」
6月議会を前にして管内各地を視察
 日本共産党議員団は30日、市内各地の工事現場などを視察しました。
 有間川の土取り現場(写真)や「えしの里」(板倉区)では、みんなで「やはり現場を見ないと駄目」と話し合いました。この視察は議会活動に生かされます。



挨拶しているのは、町田弘県農民連会長



上越市稲田の北陸研究センター(旧北陸農試)は5月31日、遺伝子組み換えイネの屋外栽培実験における田植えを強行しました。田植えが行われた同センターには、実験に反対する農業団体、消費者団体などのメンバーが百数十人が結集し、実験の即時中止を求める決議を採択し、同センターに中止を迫りました。
 各団体の代表は肉声で、「遺伝子組み換えイネは消費者に敬遠される。ここで作るとはイメージダウンにつながる。やめてほしい」「地元の合意も得ていない中で、植え付けは許されぬ」と訴えました。決議でも、「遺伝子組み換え作物の環境・人間への影響はまだ分かっていない事が多く、野外実験には大きな不安を感じる」「遺伝子組み換え作物を利用することに対しては国民の理解は得られておらず、消費者は強い抵抗感を持っている」など述べています。

地元の上越有機農業研究会やJAえちご上越労働組合、日本農民組合、「にいがた食と農と健康、教育のネットワーク」構成団体などは、実験中止が実現するまで横の連絡を取り合い、活動をすすめることを確認しています。



杉本敏宏議員、橋爪法一議員はそれぞれホームページを開設しています。活動日誌も書いています。アドレスは名前で検索できます。